



2024年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2023年7月13日

上場会社名 株式会社カンセキ 上場取引所 東
コード番号 9903 URL <https://www.kanseki.co.jp>
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 大田垣 一郎
問合せ先責任者（役職名） 執行役員 経理部長（氏名） 熊澤 達郎（TEL）028-659-3112
四半期報告書提出予定日 2023年7月14日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2024年2月期第1四半期の業績（2023年3月1日～2023年5月31日）

（1）経営成績（累計）（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年2月期第1四半期	9,130	—	70	—	79	—	47	—
2023年2月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年2月期第1四半期	6.38	6.35
2023年2月期第1四半期	—	—

（注）当社は、2023年2月期第1四半期は四半期連結財務諸表を作成していたため、2023年2月期第1四半期の経営成績（累計）および対前年同四半期増減率は記載しておりません。

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年2月期第1四半期	31,370	11,208	35.6
2023年2月期	29,582	11,155	37.6

（参考）自己資本 2024年2月期第1四半期 11,163百万円 2023年2月期 11,113百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年2月期	—	12.00	—	12.00	24.00
2024年2月期	—	—	—	—	—
2024年2月期（予想）	—	12.00	—	12.00	24.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年2月期の業績予想（2023年3月1日～2024年2月29日）

（%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	20,000	4.1	818	△5.3	800	△4.5	510	△1.7	68.40
通期	40,000	5.1	1,500	15.6	1,469	15.9	906	30.5	121.51

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2024年2月期1Q	8,050,000株	2023年2月期	8,050,000株
2024年2月期1Q	593,922株	2023年2月期	593,922株
2024年2月期1Q	7,456,078株	2023年2月期1Q	6,949,578株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間(2023年3月1日から2023年5月31日まで)における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行し正常化に向かう一方、為替相場の変動やウクライナ情勢の地政学的影響等により、資源やエネルギー、食料品価格の高騰など経済情勢の先行きは不透明な状況にあります。

この様な中、当社はこうした変化に適切に対応することで持続的な成長を実現し、当社が掲げるビジョン「お客様、地域社会、そして共に働く仲間によりそう『スマイル』創造企業」を目指してまいりました。

営業面では、ペット用品、植物・園芸関連商品やフィッシング・クロージング・フィッティング関連商品などのアウトドア用品、業務スーパーが提供するお買い得な食品などの売上は堅調に推移いたしました。5類移行によるお客様志向の多様化などの影響からファミリーキャンプ需要が落ち込むこととなりました。

設備および経費面では、2023年3月に「WILD-1宇都宮西川田店(栃木県宇都宮市)」、2023年4月に「WILD-1市川コルトンプラザ店(千葉県市川市)」及び「業務スーパー東光寺店(栃木県真岡市)」を新規出店したことによる出店費用の増加や電気料の値上げの影響により経費増となりました。

これらの結果、当第1四半期累計期間の売上高は91億30百万円、営業利益は70百万円、経常利益は79百万円、四半期純利益は47百万円となりました。

(注) 当社は当第1四半期会計期間より四半期財務諸表を作成しているため、四半期損益計算書に係る比較情報を記載しておりません。

なお、当社の報告セグメント事業別業績は次の通りです。

[ホームセンター事業]

ホームセンター事業においては、ペット用品や道路交通法改正対応の自転車ヘルメット、防犯意識の高まりによるセキュリティ用品が好調に推移いたしました。しかしながら、春先の気温が高かった影響から灯油販売が減少したことやゴールデンウィーク期間中の客数減少が業績に影響を及ぼすこととなりました。

これらの結果、ホームセンター事業の営業収益は、40億65百万円、セグメント利益は、1億49百万円となりました。

[WILD-1事業]

WILD-1事業においては、2023年3月に「WILD-1宇都宮西川田店(栃木県宇都宮市)」を、2023年4月に「WILD-1市川コルトンプラザ店(千葉県市川市)」を新規出店いたしました。

営業面では、フィッシング関連用品やクロージングウェア等などが着実に伸長しております。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の行動制限緩和により、お客様志向が変化しファミリーキャンプ関連用品を中心に大幅に売上げが落ち込んだことや、新規出店2店舗の経費が発生したことによりセグメント損失を計上しました。

これらの結果、WILD-1事業の営業収益は、24億45百万円、セグメント損失は、65百万円となりました。

[専門店事業]

業務スーパー店舗では、地域のお祭りやイベントなどの業務需要回復しつつあり、一般のお客様による利用が継続的に増加しております。

また、設備面において「業務スーパー東光寺店(栃木県真岡市)」を2023年4月に開店いたしました。出店に係るイニシャルコストが発生しているものの、開店後の業績は、計画を大きく上回り、順調に推移しております。

オフハウス店舗では、新型コロナウイルス感染症拡大前の売上高に戻りつつありますが、客数の回復には至っていない状況が続いております。ネットモール(インターネットによる通信販売)に積極的に商品を出品することで売上高の確保に努めました。

これらの結果、専門店事業の営業収益は、26億55百万円、セグメント利益は、1億86百万円となりました。

[店舗開発事業]

店舗開発事業では、アミューズメント施設において、プライズ(景品)ゲームの堅調な人気により、安定した業績で推移いたしました。

また、賃貸物件の物件数も安定してきており、一定の利益水準を確保しております。

これらの結果、店舗開発事業の営業収益は、89百万円、セグメント利益は、36百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期会計期間末における総資産は、313億70百万円となり、前事業年度末に比べ17億88百万円の増加となりました。主な要因としては、現金及び預金の増加2億55百万円、売掛金の増加2億26百万円、商品の増加14億49百万円、建物の増加2億55百万円の増加要因によるものであります。

負債は、201億62百万円となり、前事業年度末に比べ17億34百万円の増加となりました。主な要因としては、買掛金の増加7億44百万円、電子記録債務の増加3億9百万円、短期借入金の増加5億10百万円、長期借入金の増加3億49百万円の増加要因によるものであります。

純資産は、112億8百万円となり、前事業年度末に比べ53百万円の増加となりました。主な要因としては、配当金の支払89百万円の減少要因に対し、その他有価証券評価差額金の増加92百万円及び当第1四半期累計期間において四半期純利益47百万円を計上したことによるものであります。この結果、当第1四半期会計期間末における自己資本比率は35.6%となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年4月13日に公表いたしました2024年2月期の第2四半期(累計)及び通期の業績予想については、現段階で合理的な業績予想の算定が困難なことから修正はしておりません。今後の事業動向を踏まえ、業績予想の修正が必要となった場合には、速やかに開示いたします。

※ 上記予想は、現時点で入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る現時点における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年2月28日)	当第1四半期会計期間 (2023年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,116,248	1,371,955
売掛金	580,941	807,209
商品	7,980,983	9,430,291
貯蔵品	28,512	16,275
その他	899,854	536,560
貸倒引当金	△130	△126
流動資産合計	10,606,409	12,162,166
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	3,177,507	3,432,540
土地	9,361,818	9,361,818
その他(純額)	1,197,730	1,069,915
有形固定資産合計	13,737,056	13,864,274
無形固定資産	509,095	507,409
投資その他の資産		
投資有価証券	2,786,486	2,919,738
敷金及び保証金	1,823,193	1,819,350
その他	115,410	94,177
投資その他の資産合計	4,725,090	4,833,266
固定資産合計	18,971,242	19,204,950
繰延資産	4,913	3,722
資産合計	29,582,565	31,370,839
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,604,669	3,348,864
電子記録債務	1,147,865	1,457,535
短期借入金	3,900,000	4,410,000
1年内返済予定の長期借入金	1,533,619	1,610,192
1年内償還予定の社債	600,000	600,000
未払法人税等	111,208	66,463
賞与引当金	-	84,117
ポイント引当金	3,762	2,095
契約負債	404,232	425,423
その他	952,166	691,032
流動負債合計	11,257,523	12,695,723
固定負債		
社債	200,000	150,000
長期借入金	5,741,179	6,090,624
退職給付引当金	557,397	547,761
資産除去債務	233,121	262,722
その他	438,144	415,471
固定負債合計	7,169,842	7,466,578
負債合計	18,427,365	20,162,302

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年2月28日)	当第1四半期会計期間 (2023年5月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,926,000	1,926,000
資本剰余金	2,448,680	2,448,680
利益剰余金	5,919,105	5,877,200
自己株式	△389,287	△389,287
株主資本合計	9,904,497	9,862,592
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,209,073	1,301,186
評価・換算差額等合計	1,209,073	1,301,186
新株予約権	41,628	44,756
純資産合計	11,155,199	11,208,536
負債純資産合計	29,582,565	31,370,839

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	当第1四半期累計期間 (自2023年3月1日 至2023年5月31日)
売上高	9,130,207
売上原価	6,591,584
売上総利益	2,538,622
営業収入	128,902
営業総利益	2,667,524
販売費及び一般管理費	2,597,359
営業利益	70,164
営業外収益	
受取利息及び配当金	23,736
補助金収入	6,611
受取保険金	850
その他	5,566
営業外収益合計	36,765
営業外費用	
支払利息	24,580
支払手数料	1,077
その他	1,395
営業外費用合計	27,053
経常利益	79,875
税引前四半期純利益	79,875
法人税、住民税及び事業税	48,243
法人税等調整額	△15,935
法人税等合計	32,307
四半期純利益	47,568

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)等を当第1四半期会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。なお、この適用による四半期財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第1四半期累計期間(自 2023年3月1日 至 2023年5月31日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 損益計算書 計上額 (注)3
	ホームセン ター	WILD-1	専門店	店舗開発	計				
営業収益									
外部顧客への営業収益	4,065,835	2,445,937	2,655,924	89,941	9,257,638	1,471	9,259,109	—	9,259,109
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	4,065,835	2,445,937	2,655,924	89,941	9,257,638	1,471	9,259,109	—	9,259,109
セグメント利益 又は損失(△)	149,131	△65,389	186,410	36,828	306,981	1,471	308,452	△238,288	70,164

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない不動産事業等に伴い発生した付随的な収益であります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△238,288千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△238,288千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。